

エネルギー源の多様化・高度利用について

北海道部会提出
説明担当 夕張市

エネルギーは国民生活の基本であり、常に安定的な供給を第一に考える必要がある。

エネルギー資源に乏しい一方で、資源消費大国である我が国において、多様化・多層化するエネルギー供給上のリスクに対応していくためには、エネルギーの高度利用等エネルギー利用効率の向上、エネルギー源の多様化・分散化・エネルギー供給余力の保持など、世界最先端のエネルギー需給構造を確立することが求められている。

我が国のエネルギーの安定供給の観点からは、国内に未だ豊富な石炭資源や間伐材等の森林資源など、今後とも不可欠なエネルギー資源として、地球環境と調和した再生可能エネルギーを活用した技術の確立が不可欠である。

炭層ガスや石炭の地下ガス化並びに木質バイオマス等などの実用化や分散型エネルギーシステムの構築は、我が国の経済成長に資する技術であり、国においては、総合的な再生可能エネルギーの研究、開発、実証、普及に取り組まれるよう、次の施策を早急に講ずるよう強く要望する。

記

1. 炭層ガス及び地下ガス化等の石炭利用並びに木質バイオマス技術の実用化
2. 炭層ガス及び地下ガス化並びに木質バイオマス等による再生可能エネルギーシステムの構築